

いただきます。



SANKYOMEAT

サンキョーミート株式会社 | 会社案内 |

南九州の自然は、 世界につながっている。

雄大な自然が広がる南九州。

私たちは、この恵まれた環境で大切に育まれた牛と豚を
国際規格の品質管理・衛生管理のもと安全に加工し、
国内はもちろん、世界の食卓へとお届けしています。

1981年に伊藤ハム株式会社のグループ会社として設立されて以来、
私たちにはずっと変わらない、ある想いがあります。

それは、自然が育んだ大切なのちをいただいているからこそ、
自然に対して、できるかぎりのお返しをしたいという想い。

事業を通じて地球環境のためにできることを、一つひとつ進めています。

おいしさも、安全も、そして環境にも国境はないから。

これからも南九州の自然とともに、世界をみつめて歩いていく。

私たちは、サンキョーミート株式会社です。

企業の方針

1

品質・食品安全方針

安全で良質な製品を安定的に提供する。

2

環境理念

伊藤ハムグループの「事業を通じて社会に奉仕する」という企業理念のもと、
地球環境の保全が、人類が取り組むべき最重要課題の一つである事を
認識し、企業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動する。

3

環境方針

事業を通じて、地球環境への負荷低減を推進する。

ARIAKE PORK PLANT

有明ポークプラント

品質、環境、生産性、 すべてにプラスの新工場。

2019年4月より、弊社有明ポークプラント内の「と畜ライン」が新設、「カットライン」が拡張され、豚肉の処理頭数が約4割増加しました。EUから最新鋭の設備を導入したことで洗浄、脱毛、解体などこれまで人の手で作業していた部分の機械化が進み、生産性の向上やコスト削減だけでなく、衛生面や作業環境の向上につながっています。さらに、生体豚の追い込みや、二酸化炭素を用いた畜の自動化はアニマルウェルフェアにも配慮されています。また、水の使用量はこれまで豚1頭あたり1,000ℓ必要だったものが、600ℓまで節水が可能に約4割も削減され、環境にやさしい設備が整いました。新工場の設立を機に、これからもより一層安全で高品質な製品をみなさまにお届けいたします。



EUからの最新鋭設備で、安全で高品質な豚肉製品をお届けします。



工程概要

1 生体受入

2 係留



3 追込み(自動)



4 CO2スタンピング(自動)



5 シャックル掛け



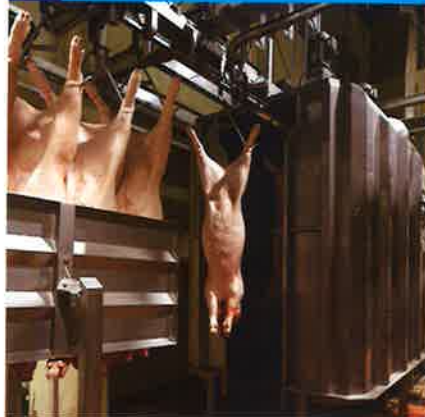
6 放血

7 と体洗浄

8 スプレー式湯はぎトンネル(自動)



9 殺菌(自動)



10 恥骨割り・腹割り・胸割り(自動)



11 枝肉番号装着

12 ネックカット

13 内臓(白物・赤物) 摘出

14 背割り(自動)

15 枝肉検査・頭肉検査・内臓検査

16 枝肉保管



世界へ おいしさを。 地球に やさしさを。

弊社

は、伊藤ハム株式会社のグループ会社として1981年に設立され、牛・豚の食肉加工処理を行なう事業を展開し、国内並びに海外へ食肉を提供している企業です。「食に対する安全・安心」を確実にするため、国際規格食品安全マネジメントシステムのISO22000の認証を受け、日々、品質管理・衛生管理を徹底し、レベルアップを図りながら業務を行っています。

海外

輸出につきましては、米国・カナダ・EU・メキシコ・ニュージーランド・香港・シンガポール・マカオ・タイ・台湾・ベトナムなど世界各地への輸出認可を受け、日本国産の食肉を世界に提供しています。更に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001も取得し、環境に優しい企業活動を行なっています。工場で使用するボイラーのエネルギーにはLNG(天然ガス)を採用。又、地球温暖化防止に貢献できるよう、工場敷地に緑地帯を設け、四季折々の花を咲かす等、環境活動にも取り組んでいます。今後も、皆様方の食生活に貢献できる会社として、社会的責任(CSR)を果たしていきたいと私たちは考えています。

代表取締役社長

年号 内容

- 1981 養豚会社として日本ファーム(株)・南日本三協(株)を設立。
- 1981 食肉加工処理会社として有明ミート(株)を設立。
- 1981 養豚会社としてワールドファーム(株)を設立。
- 1982 食肉加工処理会社として霧島ミート(株)を設立。
- 1983 食肉加工処理会社として川内ミート(株)を設立。
- 1991 食肉加工処理会社としてサツナンミート(株)を設立。
- 1996 有明ミート(株)・川内ミート(株)・霧島ミート(株)が合併し、サンキョーミート(株)へ社名変更。
- 1996 日本ファーム(株)・ワールドファーム(株)・南日本三協(株)が合併し、藤栄ファーム(株)へ社名変更。本社所在地:鹿児島県鹿屋市
- 1997 サンキョーミート(株)・サツナンミート(株)を合併。
- 1998 対香港輸出豚肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第一工場輸出開始:1998年12月】
- 1998 鹿児島県曾於郡有明町(現志布志市)に有明ミート第二工場を新設。プロセス管理にHACCPシステム導入。
- 1999 サンキョーミート(株)・藤栄ファーム(株)を合併。本社所在地:鹿児島県曾於郡有明町(現鹿児島県志布志市)
- 2002 ISO14001認証取得【対象施設:有明ミート第一・第二工場】(霧島ミート工場:2002年9月取得)
- 2002 対米輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2006年5月】
- 2005 ISO22000認証取得【対象施設:有明ミート第一・第二工場】(霧島ミート工場:2007年2月取得)
- 2006 対カナダ輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2007年8月】
- 2007 対香港輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2007年5月】
- 2009 対シンガポール輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2009年5月】
- 2009 対マカオ輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2010年7月】
- 2009 対タイ輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2010年1月】
- 2010 【特別高圧設備取得:平成22年9月】【有明ミート第二工場増設に伴う志布志市との立地協定調印:2010年11月】
- 2011 霧島ミート工場 増設【霧島ミート工場増設に伴う小林市との立地協定調印:2011年5月】
- 2012 有明ミート第二工場 増設【有明ミート工場増設に伴う志布志市との立地協定調印:2010年11月】
- 2012 対シンガポール輸出豚肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第一工場輸出開始:2012年6月】
- 2012 対香港輸出 豚処理施設認定
【対象施設:霧島ミート工場・小林市食肉センター許認可2012年6月 工場輸出開始:2012年10月】
- 2014 霧島ミート牛カット工場 新設【小林市との立地協定調印:2014年3月】
- 2014 対ベトナム輸出豚肉・牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第一・第二工場輸出開始:2014年5月・霧島ミート工場(豚肉)】
- 2014 対ニュージーランド輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2014年9月】
- 2014 対EU輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2014年6月】
- 2014 対メキシコ輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場】
- 2015 対ベトナム輸出牛肉処理施設認定【対象施設:霧島ミート工場】
- 2015 対台湾輸出豚肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第一工場輸出開始:2015年6月・霧島ミート工場】
- 2015 対フィリピン輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場】
- 2015 対ミャンマー輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場・霧島ミート工場】
- 2016 小林市食肉センター(小林市営と畜場)を買収し、霧島ミート工場と合併
- 2016 対ブラジル輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2017年4月】
- 2017 対台湾輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ミート第二工場輸出開始:2017年10月】
- 2018 有明ミート第1工場は有明ポークプラントへ。有明ミート第2工場は有明ビーフプラントへ。
霧島ミート工場は霧島ミートプラントへ名称変更。
- 2018 対オーストラリア輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ビーフプラント輸出開始:2018年7月】
- 2018 対アルゼンチン輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ビーフプラント輸出開始:2018年7月】
- 2019 対ロシア輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ビーフプラント】
- 2019 対ウラルアイ輸出牛肉処理施設認定【対象施設:有明ビーフプラント】
- 2019 有明ポークプラントと畜場 新設【志布志市との立地協定調印:2018年1月】
- 2019 対タイ輸出豚肉処理施設認定【対象施設:有明ポークプラント輸出開始:2020年1月】
- 2020 ISO22000認定施設拡大【対象施設:有明ポークプラントと畜場・加工工場】

工場案内



各工場の特徴をいかしたネットワークで、
今日も安全安心な食肉を食卓に。

会社案内

サンキョーミート株式会社

〒899-7402

鹿児島県志布志市有明町野井倉6965番地

TEL.099-474-1118 FAX.099-474-1117 <http://sankyomeat.co.jp/>

- 資本金 2億3,000万円
- 事業内容 と畜場の経営・食肉加工・食肉製品製造及び販売
- 主要販売先 伊藤ハム株式会社



工場案内

1

有明ミートプラント



有明ミートプラントには、ポークプラント・ビーフプラント・加工工場があります。
ポークプラントでは豚のと畜作業からカット作業まで、ビーフプラントでは牛のと畜作業からカット作業まで、加工工場では加工品の製造を行っています。

- ポークプラント(豚処理施設) と畜:2,400頭/日 カット:2,400頭/日
- ビーフプラント(牛処理施設) と畜: 130頭/日 カット: 110頭/日
- 加工工場 牛・豚ギフト商品・加熱商品等 製造

〈所在地〉〒899-7402 鹿児島県志布志市有明町野井倉6965番地
TEL.099-474-1118 FAX.099-474-1117

2

霧島ミートプラント



霧島ミートプラントでは牛・豚のと畜作業からカット作業を行っています。

- 霧島ミートプラント 豚と畜:1,100頭/日 牛と畜:40頭/日
豚カット:1,100頭/日 牛カット:40頭/日

〈所在地〉〒886-0004 宮崎県小林市細野2516
TEL.0984-23-6129 FAX.0984-23-6172

生産工程

万が一をゼロにするために、各生産工程で
厳しい衛生管理を行っています。



世界クラスの厳しい衛生基準
による徹底した生産管理。



生産工程の流れ

1

生体搬入

■各契約農家より生体を搬入



2

と畜工程

■生体を枝肉に加工する



3

カット工程

■枝肉からお客様スペックのボックスミートに加工



4

出荷作業

■全国へ出荷(一部輸出)



安全安心

食の安全と環境への取組みに国境はないから。
世界基準のシステムを取得しています。



食生活に貢献しつづける企業としての取組み

昨今、消費者の食品の安全性に対する関心は、日本のみならず国際的に高まっています。また、地球温暖化問題などに伴い、環境問題への企業の積極的取組みも求められています。食品の安全性と品質、そして事業活動がおよぼす環境影響をシステムとして管理する必要性から、弊社は各種国際規格および国内規格を積極的に取得してまいりました。食品の安全性と品質および環境影響の分析と評価に基づき、生産段階から加工、そして出荷まで一貫した管理システムを構築。これを継続的に改善し、さらに21世紀の食生活に貢献しつづける企業でありたいと考えております。

▼有明ポーク・ビーフプラント

| 取 得 | 輸出開始 | 輸出施設認定 |
|----------|----------|-------------------|
| 1998年 2月 | 2009年12月 | 対香港輸出豚肉処理施設 |
| 2002年12月 | 2006年5月 | 対米輸出牛肉処理施設 |
| 2006年 4月 | 2007年8月 | 対カナダ輸出牛肉処理施設 |
| 2007年 3月 | 2007年5月 | 対香港輸出牛肉処理施設 |
| 2009年 5月 | 2009年5月 | 対シンガポール輸出牛肉処理施設 |
| 2009年10月 | 2010年7月 | 対マカオ輸出牛肉処理施設 |
| 2009年11月 | 2010年1月 | 対タイ輸出牛肉処理施設 |
| 2012年 4月 | 2012年6月 | 対シンガポール輸出豚肉処理施設 |
| 2014年 3月 | 2014年5月 | 対ベトナム輸出豚肉・牛肉処理施設 |
| 2014年 3月 | 2014年9月 | 対ニュージーランド輸出牛肉処理施設 |
| 2014年 6月 | 2014年6月 | 対EU輸出牛肉処理施設 |
| 2014年12月 | | 対メキシコ輸出牛肉処理施設 |
| 2015年 3月 | 2015年6月 | 対台湾輸出豚肉処理施設 |
| 2015年 9月 | | 対フィリピン輸出牛肉処理施設 |
| 2015年10月 | | 対ミャンマー輸出牛肉処理施設 |
| 2016年12月 | 2017年4月 | 対ブラジル輸出牛肉処理施設 |
| 2017年 9月 | 2017年10月 | 対台湾輸出牛肉処理施設 |
| 2018年 6月 | 2018年7月 | 対オーストラリア輸出牛肉処理施設 |
| 2018年 6月 | 2018年7月 | 対アルゼンチン輸出牛肉処理施設 |
| 2019年 2月 | | 対ロシア輸出牛肉処理施設 |
| 2019年 3月 | 2019年6月 | 対ウルグアイ輸出牛肉処理施設 |

▼霧島ミートプラント

| 取 得 | 輸出開始 | 輸出施設認定 |
|----------|----------|---------------------------|
| 2012年 6月 | 2012年10月 | 対香港輸出豚肉処理施設(国産豚肉屠製品を輸出開始) |
| 2014年 3月 | | 対ベトナム輸出豚肉処理施設 |
| 2015年 1月 | | 対ベトナム輸出牛肉処理施設 |
| 2015年10月 | | 対ミャンマー輸出牛肉処理施設 |



ISO 14001 環境マネジメントシステム

ISO14001とは、ISO(国際標準化機構)が定めた企業や団体などの環境管理を目的とした規格です。企業や団体が環境負荷を低減させ、地球環境保護の観点から活動を管理していくための世界共通基準です。2002年3月認証を取得しました。(検証機関 日本海事検定キューエイ(株)(NKKKQA))



ISO 22000 食品安全マネジメントシステム

ISO22000とは、安全な食品を生産・流通・販売するための国際標準規格です。2005年12月認証を取得しました。(検証機関 日本海事検定キューエイ(株)(NKKKQA))

環境

環境のために私たちができることを一つずつ、
そして着実に進めています。



企業の社会的責任としての環境負荷低減への取組み

有明ミートプラントでは、エネルギーの一部にLNG(液化天然ガス)を導入しています。LNGは酸性雨の原因となる硫黄酸化物が発生しません。また、大気汚染の原因とされる窒素酸化物や、地球温暖化につながる二酸化炭素の排出量も、石油や石炭と比較して少ないため、環境負荷への低減や省エネ効果も期待されます。また、会社で取り組んでいる「屋根散水」「LED照明器具の交換」「蒸気配管の系統分け」などの、エネルギー管理の改善・技術の向上の成果が、九州地方電力利用効率化協議会に表彰され「2013年九州経済産業局長賞」を受賞しました。その他にも、緑のカーテン・サンサンひまわりプラン・四季折々の花畑などの環境活動を通じて、地球環境への負荷低減を推進しています。



屋根散水



霧島ミートプラント桜並木



サンキョーミート株式会社

〒899-7402

鹿児島県志布志市有明町野井倉6965

TEL 099-474-1118 FAX 099-474-1117

<http://sankyomeat.co.jp/>